

大雪と強風に関する農作物等の技術対策

福島県農林水産部研究技術室

平成23年2月8日17時19分、福島地方気象台から「発達する低気圧に関する福島県気象情報（第1号）」が発表されました。

（見出し）

11日は、低気圧が日本の南海上を東北東に進み、12日は急速に発達しながら三陸沖を北上する見込みです。このため、11日から12日にかけて大雪となり、浜通りと中通りの平地でも大雪となる所があるでしょう。また、12日から13日にかけては、大荒れの天気となる見込みです。暴風雪、高波に警戒し、大雪に注意して下さい。

施設の点検や雪下ろし等の管理を徹底し、被害の未然防止に努めましょう。

1 施設

（1）雪下ろし

屋根や側面に積雪がある場合は、安全性を確認して速やかに除雪を行いましょう。

除雪を行う場合は、ハウスの両サイドの雪をある程度取り除いてから上部にたまった雪を下ろし、再度除雪するようにします。なお、ハウスの片側だけ除雪すると倒壊するおそれがあるので、両側から均等に除雪するようにしましょう。

特に、古い被覆資材は滑りが悪いので、優先的に除雪して下さい。なお、短時間に多量の降雪があり、雪下ろしが間に合わない場合は、被覆資材を切るなどして施設の倒壊を防ぎましょう。

なお、暖房機が設置されている場合は、内部カーテンを（二重カーテン）を開放した上で、可能な範囲で室温を高めることで屋根雪を滑落させるようにします。

これらの作業にあたっては、安全を十分に確保しながら行ってください。

また、できるだけ1人での作業は避け、相互に安全確認をしながらグループで作業を行って下さい。

（2）施設の補強

パイプハウスは、降雪前に中柱や筋かいで補強します。

また、被覆資材の隙間やゆるみがないように点検し、杭やハウスバンドによる押さえを強化します。

（3）事後の施設点検と補修

降雪後はハウスや被覆資材各部の損傷、ゆるみ、たるみ等を点検し、必要に応じて補修を行います。特に、主管をつなぐジョイントや専用金具がゆるんでいる場合が多いので、確認し補修します。

（4）ビニールが既に除去してあるパイプハウスの除雪

ハウスの肩部や腰部のパイプ等を雪に埋没したままにしておくと、沈降圧により変形、破損等の原因になるので、早めに掘り出すようにします。

2 果 樹

(1) 樹体被害等の防止対策

樹体や果樹棚への着雪が多い場合は、速やかに雪下ろしを行いましょう。また、主枝、垂主枝などには支柱を添え、折損などの未然防止に万全を期してください。

枝が雪に埋没している場合は、雪の沈降が進まないうちに掘り出します。雪が固まってから掘り出す場合は、周囲に切込みを入れて溝を作り沈降力を軽減してから行います。

(2) 樹体被害等を受けた場合の対策

主幹部が裂開した場合には、できるだけ早急に支柱を添えカスガイやボルトで早めに止めて接合します。また、大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分まで切り戻します。さらに、傷口から病害などが侵入しないように、傷口の保護に努めます。

果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょう。

3 畜産の対策

(1) 畜舎及び施設

積雪による畜舎等の倒壊を防止するため、積雪の状況に応じ畜舎軒下等の除雪を行います。特に、ハウス式の畜舎や堆肥処理施設等の簡易施設は除雪作業をこまめに実施し、積雪による倒壊等の被害を防止してください。

低温時には、水道管やサイレージの凍結が心配されるため、凍結防止対策を適切に行ってください。また、バークリーナーや搾乳機器などの凍結によるトラブルも心配されるので、入念に点検してください。

畜舎は換気が不十分になるので換気扇、窓の開閉をこまめに実施して、空気の汚染によって生産性が低下しないようにしましょう。

(2) その他

大雪により交通網が寸断されることが予想されるため、飼料の在庫確認と購入手当を早めに行いましょう。

また、生乳や鶏卵等の畜産物、肉牛や肉鶏等の家畜等の集出荷路線の確保に万全を期してください。